

- ・追加・変更箇所は赤文字で表記。改訂日付は最新のみを記載。
- ・このメモから、ご自身の必要箇所を楽譜に転記するなど有効活用して下さい。

初版 2024/07/16

改訂 2025/01/07

## 【Swansea Town】変更と注意事項

### <曲を通じて>

- ・演奏方針：曲は長いが、実は、掛け合いとか動と静（テンポの変化）など、各パートが少しずつ形を変えているいろんなことをやっていて意外に面白いアレンジになっている。これ際立たせないと、演奏している方も聴いている方も飽きる。それを意識してみんなでモチベーションを維持して歌いきる。  
長く複雑な進行を覚えつつ、テンポのコントラストもつけるのは大変だが、それがこの曲の醍醐味。
- ・曲想：マーチを意識して勇壮に男らしく。縦に。硬めにエッジを効かせて歌う。流すようには歌わない。
- ・8分音符×2（跳ねない：14小節4拍等）と、付点8分音符+16分音符（跳ねる：16小節4拍等）は楽譜通りにきちんと区別してリズムを刻む。（★これは何度も指摘されているので注意）  
自分のやりやすい方（ノリ、好み）でやらないように今から習慣づけて。
- ・自パートがメロディを担当する小節は、主役として曲を引っ張っていく意識でしっかりと歌う。

### <個別事項>

- ・14小節 3拍目 B1B2 「A」は T1T2 の「F」と音程が逆転、「see」をしっかりと出すように。  
T1T2 「see」が尻切れトンプオにならないよう、音符の長さを維持。  
全パート 4拍目の old は、8分音符×2（跳ねない）。
- ・22小節 T2B1B2 4拍目の old は、付点8分音符+16分音符（跳ねる）。
- ・23小節 T2 3・4拍目はメロディではなくなるので要注意。
- ・26小節 1拍目 全パート 25小節 4拍目と同じ音（T1T2 は下げない、B1B2 は上げない）。
- ・28小節 B2 4拍の F → B の音程を正確に。
- ・29-32小節 B1 がメロディなのでしっかりと。
- ・30小節 T2 1-2拍は、B→Dで1音飛ぶ。2~4拍は同じ音「D」。新しい進行なので正確に。  
B1 3拍目はここまでの「A」ではなく「#F」。上がりすぎないように注意。
- ・30-31小節 B1 がメロディなので、しっかりと響かせる。
- ・31小節 B2 4拍目~ and you'll know..は強く、バーンババーンと入る。
- ・32小節 T2 B2 のフレーズにかぶせる形で輪唱の出だしを担っている。元気よくしっかりと歌いだす。
- ・33小節~ B2 34小節までの7拍をきちんと伸ばす。

また、40 小節にかけては、入り方が難しいので、どこを歌っているか全体をよく聞いて確認すること。

- ・34～38 小節 B1 B2 帳尻合わせのための寸足らずの違和感は慣れで吸収。
- ・37 小節 B1 1 拍目は「G」に下がること。 B2 4 拍目は「A」、「B」から下がるので注意。
- ・39 小節 B1 がメロディなのでしっかりと。
- ・47 小節 終わりのフレーズのパターンが早め（イレギュラー）に出てくる。混乱注意のポイント。
- ・48-52 小節 全パート メロディ
- ・52 小節～ 国歌斉唱（アンセム）のような雰囲気です。T2 は難しい進行だが正確に。

最後のセクションは勇壮にエンディングを迎える。そのテンポと歌い方は次の通り。

52 小節～ *meno mosso* 「この小節以降は、そこまでより遅く」

*legato e espressivo* 「～56 小節は音を滑らかに、表情豊かに」

57～59 小節 *slower rich* 「さらにゆっくり。豊かに」

60 小節～64 小節 *nostalgically* 「望郷の念」、さらにゆっくりにする。

64 小節～ *a tempo* 「ひとつ前のテンポ：52 小節～のテンポ」に戻す（少しだけ速く）

65 小節～ *marcato* 「一つ一つの音をはっきりと」

68 小節～ *Slower* 「この小節以降ゆっくりと。」

*cresc. e rit.* 「出だしは特にゆっくり、やや強く」

フェルマータでは一回切る（止まる）。再開は指揮をよく見て合わせる。

70 小節 3,4 拍 *ten.*と破線 「音符の長さを十分に保って演奏」★ポルタメントではない  
ブレスはしてよいが、ブツツと音が切れないように。

71 小節～ ★今回はどちらも採用しない *molt rit. e dim* 「だんだん遅く、だんだん弱く」  
代わりに、*grandioso*（グランディオーソ 壮大に）で終わる。

- ・61 小節 B2 4 拍目は下がらない。「A」に上がる。
- ・62 小節 B1B2 「is old」は、T1 T2 とのズレがかっこいいので、きちんと跳ねて強調して。
- ・69 小節 T1 付点 2 分音符の *all* は、3 拍目の裏で、「I」を入れると、次の *in* に行きやすい。  
(オオ！イン のイメージ)
- ・70 小節 B2 トリッキーな進行なので音程を正確に。

3 拍目「D」はこの調のルート音なので、そこで一回解決すると思えば取りやすくなる。

B1 3→4 拍は D→D のオクターブ、しっかり下げる。

全パート 4 拍目は難しい和音だが決まると美しいので、正確に。

・71 小節 B2 4分音符×4。跳ねずに重厚感で落ち着いた感じでドッドッドと響かせる。